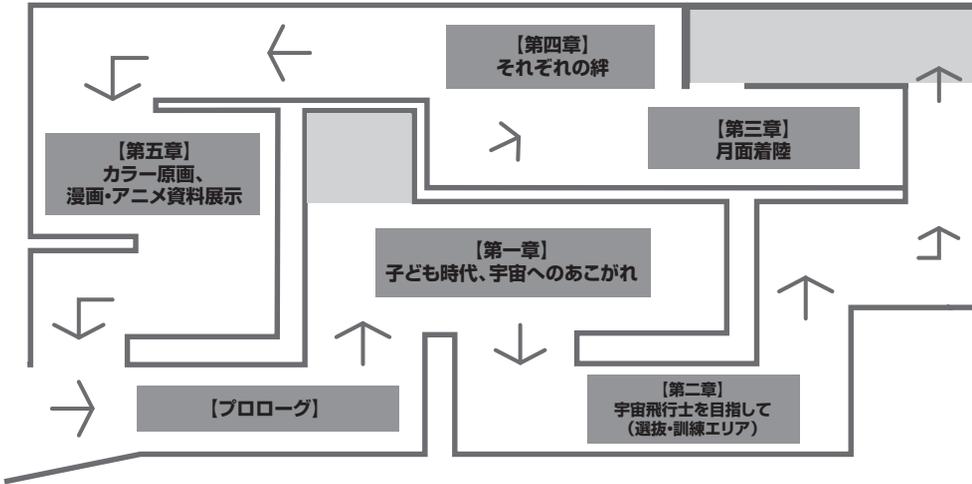


宇宙兄弟展

4F展示室



【プロローグ】

宇宙兄弟の作者・小山宙哉さんのウェルカム・メッセージを展示。第五章にはこの画を描いている動画もあるので見逃さないでね。

【第一章 子ども時代、宇宙への憧れ】

六太、日々人の宇宙への夢は子ども時代に始まった。

夜、UFOに遭遇した二人は宇宙への興味をつのらせてゆく。そして弱気な兄・六太は宇宙への夢を……。子ども時代のエピソードを中心に紹介。また、148年前に宇宙から京都に落下した隕石(曾根隕石)の現物も展示。当時の人の驚きを伝える文書(複製)は必見。

【第二章 宇宙飛行士を目指して(選抜・訓練エリア)】

六太の弟・日々人は宇宙飛行士になるという夢を実現する。夢を諦めたはずの六太は、会社を辞めたのを機会に再び宇宙飛行士を目指す。宇宙飛行士になるためのテスト、訓練が描かれた原画を展示。宇宙飛行士の適性は、体力や知力、集中力だけでなく複数の作業を同時並行にこなす能力など案外、日常に近い所でも試される。そして、何より難しいのが「この人に命を預けられるか?」という判断かもしれない。

【第三章 月面着陸】

いよいよ宇宙へ。月に望遠鏡を設置するという六太の夢。そして、宇宙ステーションで難病治療の新薬を開発したいというせりかの夢。日々人の宇宙飛行士としての第一歩から、月での事故などのエピソードに関する原画を展示。加えて、ロケットとはどんなもの、宇宙ステーションは? JAXAの模型資料により宇宙開発の概要と先端を展観する。

【第四章 それぞれの絆】

六太と日々人を中心に、宇宙開発を支える人々を描いた原画を展示。宇宙でのひと呼吸、月での一歩を実現するためには、知識や技術を持った多くの人たちの力が必要となることはいまでもない。月での一歩を支える人たちの原動力となっているのが、それぞれの人の宇宙への夢であり、それが絆をより強いものにする。宇宙兄弟では人間味豊かなキャラクターが数多く登場する、名場面・名言を集めた原画からその魅力を堪能しよう。

【第五章 カラー原画、漫画・アニメ資料展示】

京都出身の作者・小山宙哉さんを紹介。デザイン会社で働きながら、漫画家への夢を叶えるため、出版社に原稿を持ち込んで認められ、プロの漫画家となった。コミックの表紙を飾ったカラー原画や、ネーム、取材ノート、描画風景(動画)などを展示。あわせてTVアニメ版と劇場版の『宇宙兄弟 #0』の絵コンテ、シナリオ、原画、予告編動画も展示している。

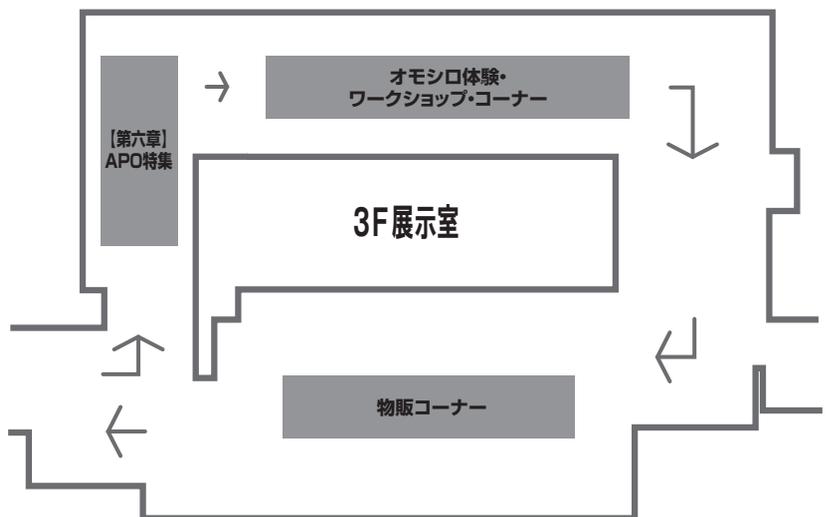
【第六章 APO特集】

漫画『宇宙兄弟』のマスコット犬として人気のパグ犬・APO(アポ)に関する原画を展示。コーナーには、2メートル以上の巨大なAPOバルーンも展示。一緒に記念撮影ができる。

【オモシロ体験・ワークショップコーナー】

京都を拠点とする学生宇宙団体 Noti's の協力で、傘袋を使ったロケット、紙コップを使ったロボット・アームなどの科学工作、ホワイトパズルなどの体験コーナーを設置(常設)。8月9日、16日、23日(いずれも土曜日)には、学生メンバーによる体験教室も開催する。

また、ポカリスエット(大塚製薬)、京都産業大学の協賛ブースでは、それぞれの宇宙への夢、その取り組みを紹介する。



EXHIBITION
Let's go to space, brother!
Chuya Koyama